学校だより 2023

北風と太陽

☆彡北風のように強くたくましく、太陽のように明るくあたたかく☀

長崎市立北陽小学校
令和５年５月 31 日　第５号
文責　校長　馬場　裕宣

□ ”命”を見つめる大切な期間がはじまります。

この６月は、長崎県（長崎市、佐世保市）において発生した子どもに関わる重大事案を受け、小学校・中学校・高等学校等校種を問わずに”命”の大切さを特に考え、実感を伴った学びを実践していく期間として設定しています。

北陽小学校でも、校長講話を全校対象に行い自らの言葉で”命”の大切さを訴えます。また、全学年での道徳授業を土曜学習として設定し、保護者の皆様と共に”命”について考えを深めます。さらに、地域の皆様と連携して１年生で交通安全の指導を行い、全校での集団下校で実践力を高めます。

これらの取組を学校だけで行わないのは、前述の重大事案の発生時の反省があります。子どもの悩みや心の闇を学校だけで把握することは困難です。多様な価値観や家庭生活の乱れにより、家庭の教育力低下が顕著に進行している状況です。各家庭だけで子どもを健全に育てることが困難な家庭もあります。地域の担い手が持続せず、人と人とのつながりの希薄化に危機感を募らせている地域があります。【子どもはみんなで力を合わせて育てる】ことが今こそ大切です。

ずいぶん前に、体育科の研究のために青森県に出張しました。折角来たので、夜にある小さな居酒屋に入りました。赤いバイク用の服を着ていた私に「おっ、暴走族かぁ！」とベレー帽を被ったおじさんがニコニコと話しかけてきました。「ちがいますよ、長崎から来ました。」と横に座って話し出しました。どうやら地元のお寺の和尚さんらしいのです。

楽しく話をしていると。和尚さんの息子さんが、大学の剣道の全国選手権で勝ち進み、明日も大事な試合があるとのこと。しかも、息子さんは片腕の剣士、隻腕で勝ち進んでいるようです。小さいころから、寝る時も竹刀を枕元に置いて寝ていたり、練習に打ち込んだり、懐かしそうに話してくださいました。私は、「そんな息子と親なら、ここにいる場合じゃないですよ。行ってあげないのですか？」と聞くと、和尚さんは次のように答えてくれました。

「息子がここまでできたのは、私の力ではない。息子に関わり、励まし、支え、いっしょに喜んだり、悲しんだり、叱ってくれたり、いろんな人と関わったから、今がある。私が行かなくても、息子はいろんな方の力を借りて頑張るよ。」と。そして、こう続けました。

【だから、『おかげさま』っていうじゃない、人様のおかげ。】と。

校長の昔であった人との大切な時間

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ キ リ ト リ セ ン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・

□ 運動会について　～感想をお聞かせください。～　※　お子さん→担任→校長へ

年　　名前【　　】

○日曜・半日開催等の設定、種目（親子や各学年）、会場、どんな感想でもＯＫです。

○次年度の参考にすることあります。お名前は保護者名で。　○いただける方のみでＯＫです。